

100号御礼

2025 3 / 11 第100号

ふくしま

# 再生 短信

< 里山再生 > 飯舘村佐須現地訪問 24/11/17

## 里山にひらく夢

2024年11月17日午後、飯舘村佐須に里山再生活動（小原壮二チームリーダー）の現場と周辺地域を訪ねた。ふくしま再生の会は、里山の放射線量や樹木・土壌の放射能濃度を測定し、伐採・植樹により里山林の新陳代謝を促進し、新しい果樹農業を始め、里山の自然とその恵みを生活の身近に取り戻すことを目指して、里山再生活動に取り組んできた。

この日、記者は里山林の周辺に展開するワインのぶどう園へ（写真1）、ちようど堆肥の施肥作業の真っ最中。目指



すは来秋の収穫。菅野宗夫農園で成熟した堆肥。東大大学院農学生命科学研究科・溝口勝教授が率いるグループ学習チーム

里山林で始まった椎茸栽培、菌を植え付けたホダ木がズラリ（写真4）。お何と、立派な椎茸が誕生（写真5）。小原は収穫の可否を工藤義行



（留）学生3人・国内3人の

師匠に電話打診、返事は問題なし。贅沢なご褒美に一同喝采。別の現場ではシメジ栽培の準備中、グループ学習チームが放射能測定の土壌採取に



里山再生活動は地球環境基金とイオン環境財団の助成を受けて取り組まれています。（写真）

励む（写真6）。夢ひらく里山、その一端を堪能した午後でした。



いたてワインへの道 2017〜2024

2017年、小原壮二・菅野宗夫・竹迫紘（当時明治大学農学部教授）間で、ワイン用ブドウ栽培に挑戦する話が持ち上がった。以降、京都・長野・帯広池田町を視察し、山形県菊池園芸・二本松市ふくしま農家の夢ワインからも支援を受けて、2019年4月にブドウ栽培が始まる。そして2024年10月、東大農学部で開催された報告会で試験醸造の「いたてワイン」が披露された（写真上）。